

特集◎トピックスで追う図書館とその周辺

千葉県図書館情報ネットワーク協議会のご紹介

— 館種を超えた地域の図書館ネットワーク —

吉野知義

千葉県図書館情報ネットワーク協議会（以下、当協議会）は、千葉県千葉市内にある図書館・資料室による協議会です。公共図書館、大学図書館、専門図書館が加盟し、館種を超えた全国的にも珍しい協議会であり、設立以来30年にわたって活動を続けています。

今年度は、NPO法人IRI（Intellectual Resources Initiative：知的資源イニシアティブ）が主催するLibrary of the Year 2024においてご評価いただき、長年にわたって地域住民や図書館員が協同し、さまざまな図書館的活動を継続的に行ってきた図書館等を称えるための賞である「ライブラリアンシップ賞」を頂戴することができました。

本稿では、当協議会の成り立ち、これまでの活動、今後の展望などについてご紹介いたします。

●設立の経緯

当協議会は、1994（平成6）年1月12日に行われた設立総会において、26の加盟館によって正式に設立されました。

設立の背景には、1992（平成4）年4月1日に政令指定都市となった千葉市において、それに相応しい市立中央図書館の建設計画が具体化しつつあり、市内の大学図書館関係者の間から市立図書館を核にしてネットワークを整備して市内図書館の機能強化の声が上がったことがあります。そのため、当初から市内の図書館・資料室などのさまざまな図書館を加盟館とすることが検討されており、設立の準備段階から館種を超えた交流の意義、そして図書と情報のネットワーク化が話し合われていました。

そして、当時はインターネットも普及しておらず図書館の蔵書検索も冊子やカードの目録が多かったため、協議会によって市内の各種図書館の連携を強化し、所蔵情報をはじめとする情報のやり取りを円滑化することで安定した相互協力体制や資料の物流の構築を大きな目的としていました。同時に、図書と情報、さらに人的なネットワーク

の重要性も意識されており、それを実現するためにも「ネットワーク」という言葉を名称としたことには先見性を感じます。

●これまでの主な活動

設立当初は、協議会としての体制を構築するために連絡会を複数回行い、会則をはじめとする規程や会費、相互協力・文献複写の書式などについての議論が行われていました。

1996（平成8）年度からは、加盟館の情報交換や職員のスキルアップを目的として、年2～3回の研修会や講演会を開催するようになりました。研修会は加盟館の職員を対象としたもので、内容も図書館の業務やサービスに直接結びつくものが多くなっています。また、講演会は一般の方の参加も募集し、図書館に関係する話題で多くの方にも興味を持っていただける内容で企画しています。

1998（平成10）年10月16日には、機関誌『Network通信』の第1号を発行しました。当協議会の活動を市民に周知するためにかねてより検討されてきたもので、当初は年度内に3回発行していました。誌面は、当初の白黒印刷による紙媒体からカラー印刷になり、現在は当協議会のWebでのPDF公開も加わって年度末に1回の発行となっています。

2006（平成18）年11月1日から12日には、加盟館紹介展を始めました。これは千葉市生涯学習センター1階のアトリウムを会場に、加盟館の所蔵資料・活動・利用方法等をパネル展示して市民の皆様にご紹介するもので、毎年秋に2週間ほどの期間で開催し、現在に至ります。

また、2023（令和5）年11月28日には、設立30周年の記念イベントを開催し、前会長の齊藤誠一氏（千葉経済大学短期大学部名誉教授）による「地域活性化、連携、そして人脈の必要性」をテーマとした講演、30年を振り返る動画の上映、「千葉市図書館情報ネットワーク協議会の今後について」をテーマとした座談会を行いました。

その他、協議会の運営として年1回の総会、年2回程度の理事会を開催しています。

なお、これまでの研修会、講演会を始めとする活動の詳細を掲載している機関誌『Network通信』のバックナンバー、ならびに設立30周年記念イベントの録画は、当協議会のWebサイトにて公開していますので、ぜひご覧ください。

●最近の活動

最近の活動として、昨年度開催した二つの研修会をご紹介します。どちらも、館種を問わずに現場の職員やサービスにも通じる話題として、とても有意義な内容でした。

○2023（令和5）年度第1回研修会

テーマ：「札幌市図書・情報館の課題解決型サービス～司書の工夫が生きる図書館づくり」

講師：浅野隆夫氏（札幌市まちづくり政策局政策企画部プロジェクト担当部長（兼札幌市中央図書館調整担当部長））

日時：2023（令和5）年7月19日10:00～11:30

○2023（令和5）年度第2回研修会

テーマ：「図書館の仕事はどうすると楽しくなるのか？ 図書館活性化のための作戦」

講師：茂出木理子氏（東京工業大学研究・産学連携本部特命専門員（研究DX担当））

日時：2024（令和6）年2月21日15:00～17:00

また、設立から30年を迎えたこともあり、今年度は当協議会自体の存在や活動を多くの図書館関係の皆様を知っていただきたいと考え、11月5日～7日にパシフィコ横浜で開催された図書館総合展にて、初めてポスターセッションに出展しました。Library of the Year 2024 ライブラリアンシップ賞の受賞と相まって、30年にわたって継続している、館種を超えた図書館ネットワークとしてご関心を持っていただけたのではないかと考えています。

●今後の展開（ネットワークの大切さ）

一口に30年と言っても、インターネットの普及やWebでのOPAC利用の一般化、図書館業務の委託など時代の変遷による社会状況の変化や、コロナ禍での大きな生活変容が起きました。その中で、図書館ネットワークとしての当協議会において目指すものとして、加盟館の職員の人的交流や業務のスキルアップ、それらに基づく図書館サービスの向上という観点の重要性が増してきました。

このような、加盟館やそこで働く職員をつなぐことは設立当初からも意識されていたものの、今後ますます「ネットワーク」という考え方において当協議会の果たすべき役割だと認識しています。そして、さまざまな館種の図書館が加盟していることで新たな気づきにもつながるなど、現在もその意義が引き継がれていることが強く感じられます。

最後に、当協議会は、館種を超えた図書館の集まりは全国的にも唯一と思われる珍しい存在として、他の自治体や地域等でのご参考になれば嬉しいです。新しいネットワークにつながることを願っています。

【2024（令和6）年度 加盟館一覧】

量子科学技術研究開発機構本部図書館

神田外語大学附属図書館

敬愛大学・敬愛短期大学メディアセンター

淑徳大学附属図書館千葉図書館

千葉経済大学総合図書館

千葉県立中央図書館

千葉市議会図書室

千葉市教育センター図書資料室

千葉市美術館美術図書館

千葉市中央図書館

千葉市みやこ図書館

千葉市花見川図書館

千葉市稲毛図書館

千葉市若葉図書館

千葉市緑図書館

千葉市美浜図書館

千葉大学附属図書館

千葉明德短期大学図書館

東京情報大学情報サービスセンター図書情報部

放送大学附属図書館

日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館

植草学園大学・植草学園短期大学図書館

千葉市生涯学習センター調査・資料室

千葉県立保健医療大学図書館

千葉市男女共同参画センター情報資料センター

参考

1) 千葉市図書館情報ネットワーク協議会 Web サイト
<http://ccal.jp/>

2) Library of the Year
<https://www.iri-net.org/category/loy/>

（よしの ともよし：千葉市図書館情報ネットワーク協議会会長、
神田外語大学附属図書館）

[NDC10：0106]

BSH：1. 千葉市図書館情報ネットワーク協議会 2. 図書館協力]